

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大 阪 市 立 茨 田 東 小 学 校

児童数

242

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.24	9.63	29.59	33.71	33.71	9.71	129.88	19.65	42.00
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.47	11.47	33.94	38.29	27.94	9.84	136.88	18.00	49.47
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子・女子ともに多数の実技種目で全国平均・大阪市平均を下回っているが、女子についてはソフトボール投げについて全国平均・大阪市平均を上回っており、握力については大阪市平均を上回っている。

- ・体力合計点については、男子も女子も全国平均・大阪市平均を下回っている。
- ・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合については、男子は概ね全国平均・大阪市平均と同じ値であるが、女子については全国平均・大阪市平均を下回っている。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、男子は大阪市平均・全国平均を大幅に上回っているが、女子は大阪市平均・全国平均を下回っており、運動の習慣が身につけている児童が多いことが分かる。

3年間の校舎改築工事により、運動場が3分の1程度の広さとなり、本校児童はその影響を多分に受けることとなった。普段の体育科の学習のみならず、休み時間の活動も制限されたことが原因の一つに挙げられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

普段の体育科の学習について、内容の充実や教員の指導力向上に努めている。また、年間を通して、縄跳び・跳の運動・持久走等、体育的な取組を行っている。

校舎改築工事により、3年間に渡り運動場の広さや、活動内容に制約があったが、運動の環境が元の状態に戻りつつあるので、児童が日常的に運動できるような取組を行ったり、体を動かすことへの意識付けを行っていく必要がある。

体力づくりには、食事や睡眠等、生活習慣が大切である。学校で確認できない事項については、各家庭への啓発が必要である。運動能力を高めるために、学校と家庭との連携・協働を今後も進めていく。

各種実技について慣れていない児童が、できないことを恥ずかしがったり、失敗を恐れたりすることのないように、練習する機会を設けたり、「できないことは良いことだ!」と全員が意識できるように雰囲気づくりを行い、「体を動かすことって楽しい!」と思えるような環境づくりを行い、運動の楽しさを全ての児童に味わわせていきたい。

